

教育情報化コーディネータ 2002 年度 3 級検定試験問題 B09

ITCE3 級検定試験自主ゼミ 2003 年 5 月 30 日 宮崎 議弘

問題

以下の記述は、「総合的な学習の時間」の活用について説明したものです。【正しいもの】を 1 つ選びなさい。

1. 中学校では、選択教科と総合的な学習の時間の各時数の総和が決められているだけで、選択教科をなくし、全て総合的な学習の時間に振り替えてもよい。
2. 総合的な学習の時間では「国際理解」「情報」「環境」「福祉」の 4 つの課題のうち、必ず一つ以上をとり入れたカリキュラムを作成しなければならない。
3. 総合的な学習の時間では、体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れることが望まれている。
4. カリキュラムを任された学校側の選択肢の 1 つとして、ドリル学習などの教科の補習で通年の計画を立案してもよいことになった。
5. 子どもの自由な発想のもとに試行錯誤を行い、発見させることが大切なので、教師は指導を行わないほうがよいとされている。

解答：3

1. × それぞれ時間が決められている。
2. × 『中学校学習指導要領』には、「例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題」(傍点筆者)などについて、学習活動を行うとある。
5. × 「地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制」などについて工夫することになっている。

解説：総合的な学習の時間

「総合的な学習の時間においては、各学校は、地域や学校、生徒の実態に応じて、横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動を行うものとする」(『中学校指導要領』)。

生きる力

自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性
たくましく生きるための健康や体力

(第 15 期中央教育審議会第一次答申)

多様な活動を通して生きる力を育む(村川、小林編著『改訂小学校学習指導要領の展開』)

横断的・総合的な課題について体験的・問題解決的に取り組む。具体的な課題の設定の仕方や解決の仕方を学習の過程として体験し、その過程で生きる力を発揮し伸長したり、教科学習などで培った知識や技能を活用・応用することを経験したりすることが重要である。